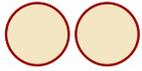




第 129 号

ISHIKAWA
編集 発行

石川県公立小中学校
教育事務研究会



会長 前川 明美



～ 退任役員よりひとこと ～

副会長 加賀市立東和中学校 江守 都美子

皆様のご協力のおかげで、3年ぶりの研究大会、4年ぶりのセミナーを開催することができましたこと、改めてお礼申し上げます。これまでとは違った立場で研究会に携わり、今までいかに諸先輩方に支えられ、助けられていたかを実感した1年でした。地区や研究会の皆様の支えがあってこそ安心して仕事ができ、それが子どもたちの学びの支えにつながっていると感じました。

1年間ではありましたが、貴重な経験をさせていただきました。役員の皆様、会員の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



～ 功労者表彰の受賞者よりひとこと ～

小松市立能美小学校 中出 一

私たちの仕事は、学校現場では孤独な立場です。半面、自分のペースで仕事を進めることができる素敵な仕事だと思います。ただし、独り善がりになったり、情報の交換ができないことによる弊害が生じます。それゆえに、同じ職種の仲間とつながり、高めあうことがとても大切だと実感いたしました。

どうぞ、これからも健康に留意され、保護者や地域に信頼される学校づくりに貢献できる教育現場の行政職員としてお力を発揮されることをご祈念申し上げます。

ここに私の好きな先人の言葉を添えます。
“人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そしてむくいを求めぬよう”

(戦前の政治家 後藤新平の名言より)

皆様のおかげで最後までなんとか勤め上げることができました。誠にありがとうございました。

金沢市立清泉中学校 和田 由紀子

今言えることは、『多くの方に助けられてきた』この一言につきます。まず、4度の複数配置に恵まれました。先輩方の仕事に対する姿勢を間近に見ることが出来たこと、新採の方からは新しい知識・意欲に大いに刺激を受けました。研究会では学ぶことが多く、自身が情けなくなることが多々ありました。そんな時先輩方の温かい言葉、同期の励まし、頼もしい後輩に助けられました。学校現場がどんなに変わっても、仲間と力を合わせ乗り越えていけると信じます。ありがとうございました。



小松市立板津中学校 木村 敦子

コロナ禍で日常が一変し、当たり前が当たり前でなく、今までどおりを改めて考える機会となりました。まさかかわることがないと思っていた多くのことが、変化したことを皆さんも感じた事でしょう。受け入れるための柔軟さ、新しいチャレンジ。幅広く考え、学び、体験したことが多ければ多いほど、その変化をポジティブに考えられる気がします。どんなことにも興味を持って今より一歩前に進む努力を惜しまない。今までも、これからも、そうあり続けていこうと思います。長い間お世話になりありがとうございます。

中能登町立鳥屋小学校 箕田 玲子

不安だらけの初任校から郡市町を異動し兼務を含め11校。「？」を解消すべく、調べて教えを請い「！」にたどり着く。それを繰り返して退職の年を迎えた。ひとり職でも続けることができたのは、ひとえに県郡市町の事務研中間がいたからこそ。

県事務研の役員をさせていただいた2年間は県事務研HPの一般公開を開始し、全事研石川大会に向けて動き始めた年。「できる？」を「できる！」にしていく事務研会員の皆様の手カラの結集ってすごいと感じた。

あれから十余年。HPの情報、各部会の役割と活動、研修形態、地区の研究、仕事の内容、個人の考え方などが大きく変化した。それらに対応し、たくさんの「？」とそれ以上の「！」を積み重ねて「道を継ぐ」(H20年発行小中事務研五十年誌表題)。ご活躍をお祈りしています。

本年度退職される皆様

七尾市立石崎小学校	田中 美幸 様
七尾市立七尾中学校	打越 稔 様
中能登町立鳥屋小学校	箕田 玲子 様
羽咋市立西北台小学校	堀田 久代 様
金沢市立夕日寺小学校	池田 紀子 様
金沢市立大徳小学校	坂下かつみ 様
金沢市立諸江町小学校	田上 晴美 様
金沢市立千坂小学校	向井 潔代 様
金沢市立清泉中学校	和田由紀子 様
野々市市立野々市中学校	牧野 智美 様
能美市立栗生小学校	小西紀美代 様
能美市立辰口中学校	山崎 夏江 様
小松市立能美小学校	中出 一 様
小松市立板津中学校	木村 敦子 様

ご退職の皆様、おめでとうございます。

退職される皆さまには、長い間、地区の研究会や県の研究会にいろいろご尽力をいただきありがとうございました。

これからも県の学校事務研究会は、皆さまから受け継いだ組織力を活かしながら活動していくことができたと考えています。

今後もいろいろな場面でご指導いただけたら幸いです。

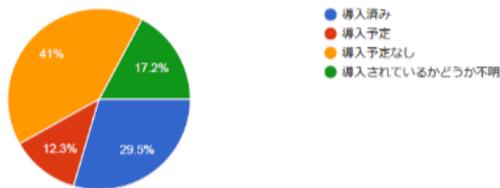
皆さまのこれからのご活躍をお祈りしています。

*定年退職を迎えられた方のみお名前を紹介させていただきます

ご協力ありがとうございました

全事研11月期調査、研究委員会コミュニティスクールアンケートの結果をホームページに掲載してあります。抜粋してご紹介させていただきます。

① コミュニティ・スクールの導入状況 回答122件



導入済み・導入予定 42% 導入なし 41% 不明 17%

H30以前導入	かほく市、金沢市、能美市
H31導入	
R2導入	珠洲市、金沢市、能美市
R3導入	珠洲市
R4導入	珠洲市、野々市市、白山市、加賀市
R5導入予定	白山市、加賀市
R6導入予定	中能登町

アンケートの結果から県内19の市町のうち、令和6年度には8つの市町で導入されていることとなります。平成30年度よりコミュニティスクールはすべての公立学校で「導入を目指す」こととなっています。今後さらに増えていくコミュニティスクール、事務職員としてどう関わっていくか考えていきたいですね。



3年
ぶり

公立学校教育事務研究会セミナー開催

講演会

演題「GIGA スクール構想について」

講師 石川県教育委員会学校指導課課長補佐 東原 修身 氏



1人1台端末は多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものと学びました。

Society5.0時代に生きる子どもたちにとってPC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムですね。

全事研報告



研修推進委員会報告



功労者表彰



研究委員会報告



研究協議会（総会）



議件はすべて承認されました
ご協力ありがとうございました

令和3年度採用の皆さん

これからを担っていく皆さんにフレッシュさと頼もしさを感じました！



県事務研マスコットキャラクター
イシカワケンジ

